



NNA JAPAN CO., LTD.

〒105-7209 東京都港区東新橋1丁目7番1号 汐留メディアタワー9階
Tel: 81-3-6218-4330 Fax: 81-3-6218-4337 E-mail: sales_jp@nna.asia

MCI(P)042/09/2014

就職課運営で新卒の採用支援 人材フォースバレー、2大学で

人材紹介会社フォースバレー・コンシェルジュ(東京都千代田区)は、ミャンマーの名門2大学で就職課(キャリアセンター)の運営を開始した。企業数が急増し、中途採用人材の取り合いで給与が高騰する同国で、新卒者採用の需要を開拓する。ミャンマーの大学で初となる就職課運営の狙いを柴崎洋平社長に聞いた。

——大学就職課の運営発表から1カ月たったが現状は。



「新卒のニーズを作り出そうとして始めた」と語る柴崎社長。=3月初旬、東京(NNA撮影)

めたところ。

ヤンゴン経済大学と覚書を交わしたのは去年の夏で、ヤンゴン工科大学と提携してからの発表となった。現地のキャリアセンターを企画・管理・運営するというのはミャンマーで初めての試み。ミャンマーの大学には就職データがなく、就職率も分からないので、卒業生に就職状況の聞き取りを始

め。在學生はキャリアのイメージを持てるようになり、そういう大学に行きたいという学生が増えることで、学生の質も上げる戦略だ。

在校生向けには「ビジネスの世界で求められるもの」を伝えるセミナーを始め、日系企業を中心に企業の幹部や若手にセミナーに登場してもらおうと企画している。定期的なセミナーや合同就職説明会、日本の大学への留学も支援する。現地日系企業や現地外資企業への就職、ミャンマーから日本への留学、日本の本社への就職というところまで支援していきたいと思っている。

——最初の卒業生でどのくらいの就職を支援する想定か。

現地の日系企業は新卒を取りたがる状況でないからこそ、この事業をやるわけだが、われわれの支援を受けた学生100人程度の就職が決まればいいというイメージだ。これまでは大学を卒業生しても就職口がなかったが、日本と同じように、新卒ですぐに働き、学んだことを社会やビジネス界に還元する文化を植え付けたい。

ミャンマーは、大学が機能していなかったこともあ

(次ページへ続く)

NEWS HEADLINES

ミャンマー

- 【労働】就職課運営で新卒の採用支援 1
- 【経済】メコン地域の可能性報告、川崎商工会と専修大 3
- 【経済】工業相、日系進出で「ヤンゴン以外も検討を」 4
- 【運輸】アロン国際港が開港、軍系企業がヤンゴンで 4
- 【食品】消費者苦情処理と食の安全で新委員会 4
- 【観光】マンダレーの水上ホテル、4月にも正式開業 5
- 【観光】海外旅行の催行認可、業界が厳格規制に反発 5
- 【労働】政府公認の海外就職、半年で3.5万人 5
- 【資源】粗悪品販売の給油所取り締まり、石油製品公社 6
- 【経済】ミャンマーの貿易額、11カ月で250億ドル超 6
- 【観光】日本支援のヤンゴン連絡船、外国人の利用増 6
- 【政治】ヤンゴン有権者の啓発着手へ、総選挙向け 6

【政治】テイン・セイン大統領、マレーシアを近く訪問 7

カンボジア

【運輸】シアヌークビルに新港計画、日本が援助か 7

特集

【ミャンマー労働法】ビザ(仕事上関連するビザ) 8

【アジアで会う】岩切健二さん 東京サイアム・プラザ社 10

長 11

【日本の税務】未払の残業代を受け取る場合 11

その他

商品市況 12

クロスレート 12

り、人材が輩出できていなかった。企業の進出が急増しているが、人材の需給バランスは「世界一悪い」状況。日系だけでなく、ミャンマー中の企業が人材の獲得では本当に苦労しているのが、新卒の優秀な人材を取ること需給バランスも良くなるはずだ。

100 社と協議中

——まず 2 校で始め、その後は何校に増やすのか。

今年中に 10 校近くに増える。多くの大学と話している、省庁の承認待ち。ヤンゴン工科大も承認をとるのに 1 年近くかかった。日本のように文部科学省が大学を管轄しているわけではなく、大学によって省庁が変わる。

——企業からの新卒需要がない中で、どう就職を支援していくのか。

企業も「いい人材がいたら新卒を取っても良い」と言っている。採用支援では、セミナーのほかに面接会をやる。1 大学で月に 40~80 人を面接する。その中で優秀な学生を選び企業とマッチングする。この手法は、ミャンマー現法がすでに手掛けている中途採用の紹介と同じ。今度はそこに新卒も入れるということ。

顧客は現在 50 社程度で 8 割は日系企業だが、今後は外資が増えていく。協議中の企業は 100 社を超えている。

——企業側、学生側の反応は。

当然だが学生側の反応はすごくいい。いままでないサービスで、無料であることに驚かれたりする。それに対して、企業側は即戦力がほしいので、第一印象としては「新卒はいらない」わけだが、そうは言っていない状況であることは企業も分かっている。

われわれが 100 人の新卒者の採用を支援しても需要にはまったく足りないのが、いま新卒者の就職用サイトを作成中だ。5 月中には公開できる。「即戦力だけ」と言っていない時代が確実に来ている中で、ミャンマーのエリート層である学生たちと企業を直接つないでいく試み。このサイトを通じて 2 年後に 2 万人の就職支

援を目指している。

——新卒の賃金のイメージは。

2~3 万円というところ。海外で働いていた人が戻ってくると数倍、留学から帰った新卒でも 2 倍くらいなので、現地で育った人はまだ安い。ただマネージャークラスは、海外から帰国した中途採用となっており、ここが高騰している。このクラスの賃金はベトナムやフィリピンよりはるかに上だ。

——就職課の事業はいつから準備していた。

きっかけは 2013 年に世界経済フォーラムの「ヤング・グローバル・リーダー」に選ばれて、ミャンマーに招待されたこと。いろんな国の大学を回る中で、キャリアセンターがないということに違和感があったので「やったほうがいいですよ」と提案した。

まずはこの国に貢献しようというところから始まった。大学からお金をもらえるとは思っていないので請求したこともないし、もらおうと思ったこともない。われわれのビジネスモデルは、「新興国で社会貢献し、先進国からお金を頂戴する」こと。

キャリアセンターの運営も手弁当。先行投資で、そこで育った人が将来、紹介事業に生かされることで回収できる。ボランティアではない。ミャンマー現法の売上高は 2~3 年で 5,000 万円程度に持っていきたい。(聞き手・今野至)

<プロフィール>

しばさき・ようへい。1975 年 3 月 11 日生まれ。上智大学卒業後、ソニーを経て 2007 年にフォースパレーを設立。13 年、世界経済フォーラム(ダボス会議)の次世代指導者ヤング・グローバル・リーダーに選ばれ、同年にミャンマー現法設立。社名は上智大のある四谷に由来する。大学で明け暮れたアメリカン・フットボール選手時代のような「気合」で事業をしようとの思いを込めたという。



smartphone

アジア経済ビジネス情報を
スマートフォンで!

NNA POWER

有料Webサイト「NNA POWER」をご契約中であれば追加料金は発生しません

世界中で 7,000 社が活用
アジアで勝ち抜くための必須の情報ツール

現地発の情報をスピーディに配信、月~金曜日
で毎日約300本の記事が更新されます。
統計データや税務、労務の専門家の解説も掲載
し、貴社のビジネスを強力にサポートします。

